

赤外分光光度計 (FT-IR)

機器の特徴

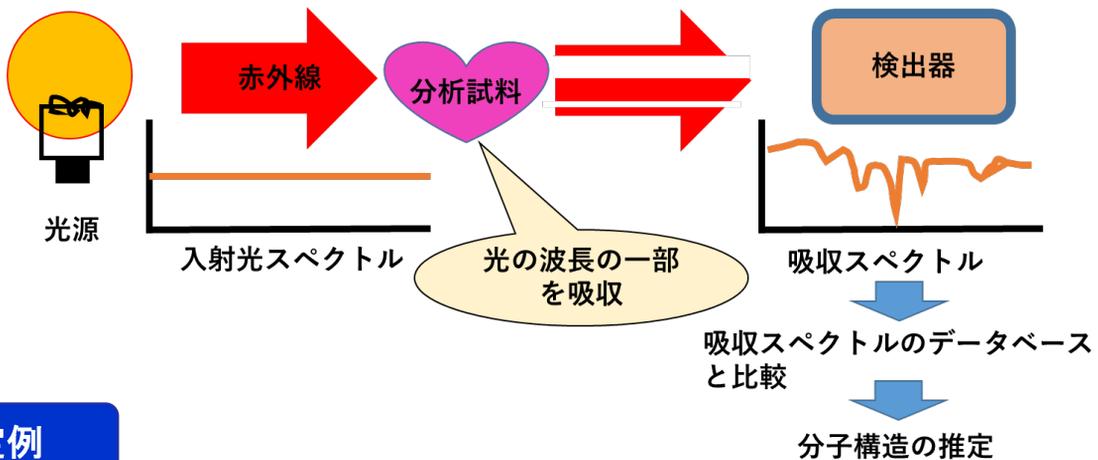
試料に光(赤外線)を照射すると、各化合物の官能基ごとに特徴的な吸収が起こります。このように吸収スペクトルが分子構造を反映することを利用して、主に有機物の定性分析ができる装置です。

分析は試料への光の反射と透過の両方で行うことができますが、特に1回反射型のATRユニットは、短時間で粉体や固体、液体試料の高感度な測定が可能です。

分析対象は、主に有機物であり、製造ラインや食品中の異物の分析に多く用いられます。



設置場所 : 第四機器分析室
メーカー名 : サーモフィッシャーサイエンティフィック(株)
形式 : Nicolet 6700
主な仕様 :
測定波数範囲 : 7800~350 cm⁻¹
波数分解能 : 0.5 cm⁻¹
S/N比 : 40000:1以上



測定例

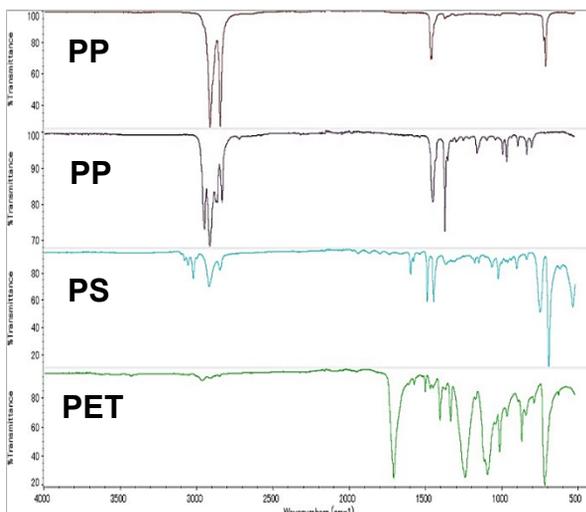


図1 合成樹脂のIRスペクトル

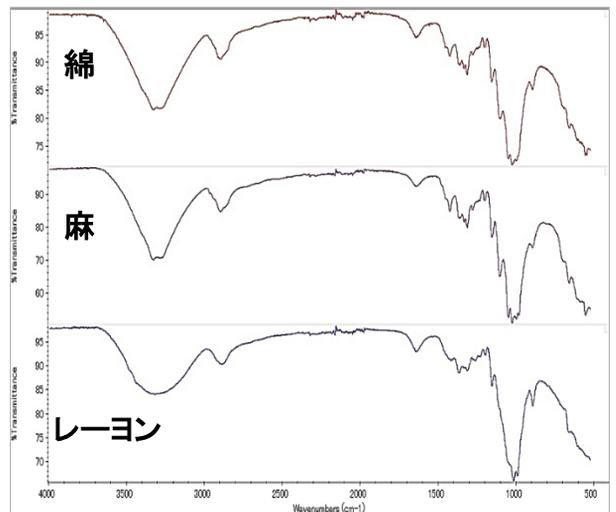


図2 天然繊維のIRスペクトル